農業・農村の多面的機能発揮に向けて

農村地域の人口減少や高齢化が進行

農地などの維持管理に係る担い手の負担が増加

→ 農地や農業用施設の適切な維持保全が困難に！

地域協働による保全活動を促進！

多面的機能支払制度による保全活動

【農地周りの草刈り】

【水路の目地補修】

【水辺の生き物調査】

※多面的機能支払制度：
農地や水路・農道の維持管理、施設の長寿命化や農村環境の保全など、多面的機能発揮に向けた地域の共同活動を支援する制度。

アドプトによる保全活動

【地域団体（里親）によるため池（養子）の管理】

【地元小学校（里親）による頭首工（養子）周辺の管理】

※アドプト活動：
「里親」となった地域や企業などの団体が施設管理者と「アドプト協定」を締結し、「養子」となった基幹的水利施設などを協働の力で保全管理する活動。県内 186 箇所で協定が締結されている。（平成 26 年 3 月末現在）

地域の協働活動により、農地や農業用水を守ることで、農業･農村の多面的機能が発揮されます！

岩手県 農林水産部 農村計画課・農村建設課
TEL：019-629-5666 E-mail：AF0006@pref.iwate.jp
URL：岩手県公式ホームページ http://www.iwate.jp/
→ 「農村計画課・農村建設課」でサイト内検索

私たちの暮らしを支える農業・農村

農業・農村は

緑豊かな自然環境や多様な生態系

安全・安心な食料の安定供給

「食料の安定供給」と、「自然環境の保全」など多面的な機能の発揮を通じて

美しい景観や国土の保全

伝統文化の継承

私たちの暮らしを支えています！

岩 手 県 農 林 水 産 部

いわての農業生産基盤の現状は

水田整備の遅れ

小区画・不整形、農道、用排水路の不備な水田

排水不良の水田

【水田整備率と米の生産費(23 年度)】（単位：%、千円／10a）

区　分	岩手県	青森県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	東北平均	全国平均
水田整備率	50.7	62.3	64.6	65.0	73.2	70.9	64.6	63.2
米の生産費	145	127	127	126	128	116	127	140

【県農村計画課資料】

本県の水田整備率は東北で最も低く、一方、米の生産費は東北で最も高い。

【小麦･大豆の単収の実態】（単位：%、kg/10a）

区　分	小麦			大豆		
	岩手県	東北	全国	岩手県	東北	全国
水田整備率	50.7	64.6	63.2	50.7	64.6	63.2
単収	177	201	379	113	137	164

単収は 7 か年（H19～25）のうち、最少･最大を除いた 5 か年の平均値

【農林水産省統計資料、県農村計画課資料】

本県の小麦や大豆の約９割は水田で作付けされているが、排水改良の遅れから、平均単収は、東北平均を大きく下回っている。

農業水利施設の老朽化

用水路の継ぎ目からの漏水

コンクリート劣化による崩壊の危機

【本県の基幹的農業水利施設の耐用年数の実態】

区　分	標準耐用年数	施設総数	耐用年数超過の実態			
			平成24年度末時点		平成34年度末見込み	
			施設数	割合	施設数	割合
水　路	40年	1,400km	294km	21%	467km	33%
頭首工	50年	66箇所	11箇所	17%	20箇所	30%
ポンプ場	20年	50箇所	18箇所	36%	35箇所	70%

【県農林水産部「農業水利施設の維持更新計画平成 25 年度改訂版」】

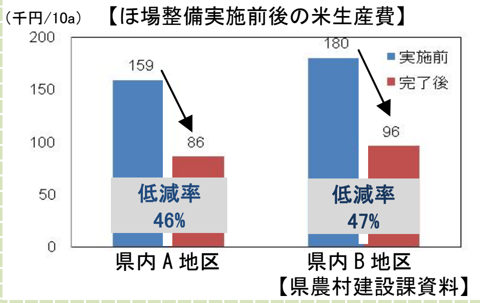
昭和 30 年代以降盛んに整備された本県の基幹的な農業用水路は、10 年後にはその多くが耐用年数を超過すると見込まれる。

いま取組むべきは

水田の大区画化・汎用化による生産性の向上

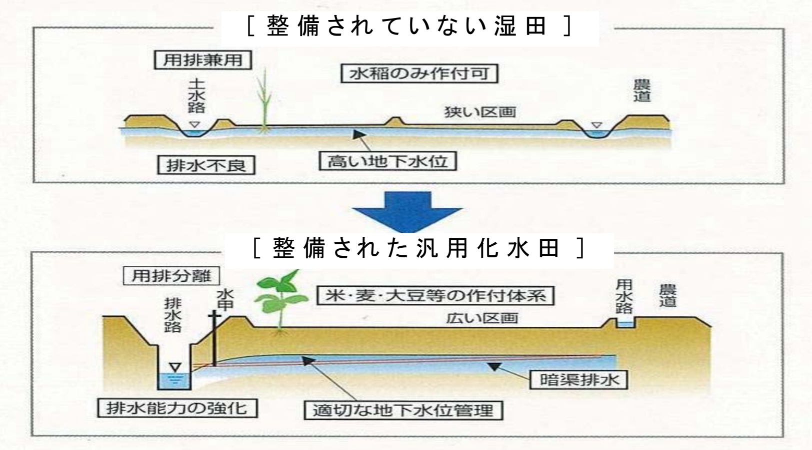
整備前

整備後



【県農村建設課資料】

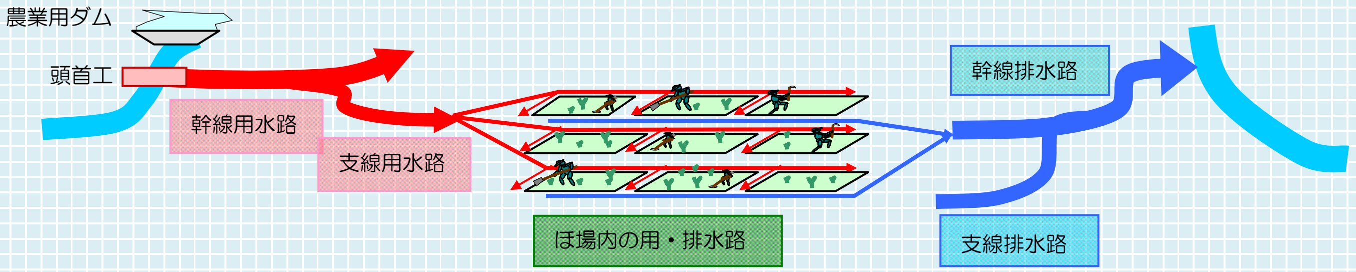
水田の大区画化による生産費の低減が必要！



汎用化水田における小麦の収穫

汎用化（排水改良）による麦･大豆等の生産拡大が必要！

計画的な維持・更新による用水の安定供給



頭首工の改修

水路の補修

基幹施設（ダム、頭首工、幹線水路など）から、ほ場内の用・排水路までを、一連の水循環システムとして、計画的な補修・改修を実施し、用水の安定供給を図ることが必要！